

閲覧用設計書 CSV ファイル 仕様変更について

平成 19 年 8 月 22 日

技術管理室

この度、閲覧用設計書 CSV ファイル（以下、CSV ファイル）内の不要な空白を削除し、CSV ファイルサイズの縮小を図るため、仕様変更を行います。（「空白」とは、全角 / 半角空白両方を含みます）

仕様変更内容は以下の通りです。

- ・ 1 つの要素内に文字列と空白が混在している場合
文字列の右側の空白を削除します（左側の空白は階層表示に必要なため、削除しません）
- ・ 1 つの要素内が全て空白の場合
全ての空白を削除します（カマ間にはデータは存在しません）
要素・・・ここではカマとカマの間のデータを指すものとする

例）工事内訳の内訳情報レコード（一部分を抽出）

凡例： #：半角空白 ：全角空白 実際の CSV ファイルには表記されません

現行：

施工単価名称： ,#####基礎栗石工 ,

施工単価摘要： ,#####,

移行後：

施工単価名称： ,#####基礎栗石工,

施工単価摘要： ,,

変更内容：

施工単価名称の文字列右側の不要な空白を削除。文字列左側の空白については、階層表示を行う際に必要であるため、削除しない。これは、空白が半角空白か全角空白かには依存せず、また要素が「施工単価名称」に限ったものでもない。単純に空白以外の文字列が要素内に存在した場合は、左側空白は残し、右側空白は削除を行う処理である。

施工単価摘要については元々空白のみであるため、空白削除処理を行う。この場合についても、空白が半角空白か全角空白かには依らず、単純に空白削除処理を行う。

上記の仕様変更に伴い、CSV ファイルのレコードの仕様も変更になります。

現行 ： 「1レコードが固定長の CSV ファイル」（1レコード：290バイト）

移行後 ： 「1レコードが可変長の CSV ファイル」

次頁に移行後の CSV ファイル作成規約を記載します。

ご理解の程、よろしくお願いいたします。

閲覧用設計書CSVファイル構成

(1) 設計書鏡表紙 / 総括情報表 1 部分

設計書鏡 / 総括情報表 1 帳票を CSV 出力する仕様は以下の通りです。

CSV 1 要素目情報

- M : 帳票情報 (帳票名についての情報を出力するレコード)
- T : 項目情報 (内訳の列タイトルを出力するレコード)
- K : 内訳情報 (内訳を出力するレコード)

帳票情報 : M,帳票タイトル,,,,,,,頁番号,
項目情報 : T,項目総称,項目名称,,,,,,,
内訳情報 : K,項目総称,項目名称,,,,,,,

注 下線のある文字は固定文字

(2) 工事内訳表 / 工種明細表 / 科目内訳表 / 施工内訳表 部分

工事内訳表 / 工種明細表 / 科目内訳表 / 施工内訳表帳票を CSV 出力する仕様は以下の通りです。

CSV 1 要素目情報

- M : 帳票情報 (帳票名についての情報を出力するレコード)
- N : 工種 / 科目 / 施工情報 (工種 / 科目 / 施工の名称・規格情報等を出力するレコード)
- T : 項目情報 (内訳の列タイトルを出力するレコード)
- 1 ~ 9, A ~ C : 内訳情報 (内訳を出力するレコード【行番号】)

帳票情報 : M,帳票タイトル,,,,,,,頁番号,
工種 / 科目 / 施工情報 : N,名称,規格 1,規格 2,摘要,単位数量,単位,当り,,,
項目情報 : T,名称(1),規格 1,規格 2,摘要,数量,単位,単価,金額,備考,
内訳情報 : 行番号,名称,規格 1,規格 2,摘要,数量,単位,単価,金額,備考,

1 帳票により固定文字が異なる

注 下線のある文字は固定文字